

地デジを知りたい

chapter 2

牧之原市も地デジが見られる

chapter 3

地デジの難視聴を回避

地デジは、2003年（平成15年）に東京、大阪、名古屋の3大都市圏で始まりました。静岡県では静岡局（日本平）を親局として、05年6月よりデジタル放送を開始しています。

牧之原市は、静岡局と島田中継局からほぼ全域でデジタル放送を受信しています。

デジタルの電波はアナログに比べて直進性が強いので、高い建物や山に囲まれた地域では受信障害が発生しやすく、難視聴になる恐れがあります。デジタル放送の難視聴とは、アナログ放送での「見えにくい、聞こえない」ではありませんが、「全然映らない、全然聞こえない」のです。

難視聴の対策として、ことし5月、菅山区内に相良中継

イミングは決して早いわけはありません。

デジタル放送の種類

地上デジタル放送のほかに
▽高画質・高音質のBS放送（ブロードキャスト）・サテライト/衛星放送）▽有料放送が基本となりますが、多チャンネルが視聴できる110度CS放送（コミュニケーション・サテライト/通信衛星）があります。

デジタル放送の特徴

▼高画質・高音質
テレビは走査線と呼ばれる細かい線によって映像を映し出します。デジタル化によって、480本だった走査線が1080本まで増え、より緻密なワイド映像が楽しめるハイビジョン（HD）が標準となります。映像が重なるため見えることもなくなります。音質も格段に向上し、臨場感溢れる音声を楽しむことができます。

▼データ放送
ニュースや住んでいる地域の天気、交通情報、災害情報

などを見ることが出来ます。

電子番組表（EPG機能）

新聞のテレビ欄の情報を画面で確認できます。

字幕・解説放送

高齢者や障がいのある人などのために字幕放送が楽しめます。番組によっては生放送も字幕付きで楽しむことができます。

さらに、ドラマなどの筋書きを音声で紹介する解説放送や、音声をゆつくりとしたスピードで聞く機能があるものもあります。

双方向サービス

電話回線やインターネット回線をつなぐことにより、テレビ局と双方向に情報のやりとりができるようになります。これを利用してクイズ番組やアンケートへ参加したり、テレビショッピングを気軽に楽しむことができます。

ワンセグ

携帯・移動体向けのサービスのことで、携帯電話のほか、車載テレビやパソコンなどで乱れの少ない映像が受信できます。特に災害時には、重要な情報端末となります。

地デジの開局状況

地上放送の番組内容は、デジタル放送もアナログ放送もほとんど変わりません。リモコンのチャンネルボタンについては、電波の周波数帯域が変わることもあり、アナログ放送から一部変更されています。同じチャンネルボタンを押しても、デジタル放送とアナログ放送では、テレビ画面に映る放送局が違ってくる場合があります。

例えばアナログ放送で11チャンネルだった静岡放送（SBS）は、デジタル放送では6チャンネルになります。



1 静岡局（親局）
設置場所：日本平
2005年6月開局
受信エリア



2 島田中継局
設置場所：島田市
2006年6月開局
受信エリア



3 相良中継局
設置場所：牧之原市
2010年5月開局
受信エリア



受信エリアの目安

デジタル放送推進協会（Dpa）のウェブサイトで、自宅が受信可能エリアかどうかを調べることができます。自宅の場所を指定して地図を表示。中継局をクリックすると、その中継局がカバーしている範囲が色分けで表示されます。

Dpaウェブサイト URL <http://www.dpa.or.jp/>

デジタル放送推進協会（Dpa）のウェブサイト▶



地デジの開局状況

リモコンチャンネル	1	2	4	5	6	8
局名	NHK総合	NHK教育	静岡第一テレビ (SDT)	静岡朝日テレビ (SATV)	静岡放送 (SBS)	テレビ静岡 (SUT)
	物理チャンネル					
静岡 親局	20	13	19	18	15	17
島田 中継局	16	14	19	18	15	17
相良 中継局	32	39	36	43	41	45

物理チャンネル

アナログのUHF放送のチャンネル番号に一致するものです。地上デジタル放送では、アナログのUHF放送と、ほぼ同じ周波数を使用していますので、アナログUHF放送の13chから62chまでのチャンネル番号を、そのまま地上デジタルで「物理チャンネル」と呼ぶことにしています。

データ放送



地域に密着したニュースや気象情報・災害情報など、生活に役立つ便利な情報を、リモコンのデータ放送ボタン（dボタン）を押すだけで「文字情報」や「静止画」で、いつでも見ることができるサービスです。番組内容と連動したデータ放送が行われている場合もあります。

字幕放送



高齢者や障がいのある人への優しいサービスとして、標準機能で番組の音声を字幕で表示する字幕放送を楽しむことができます。番組によっては生放送も字幕付きで楽しむことができます。また、内容を説明する解説放送や、機種によっては音声速度を変えることができる機能もあります。

高画質ハイビジョン



走査線が480本から1,080本へ、本数が多いほど高精細・高画質な映像が実現します。人間の目が見える広さは縦方向より横方向に広い特徴があることから、16:9のワイド画面を採用し、臨場感ある映像が楽しめます。

電子番組表で簡単録画



地上デジタルはもちろん、BSやCSなど、すべての番組の放送予定を確認できます。機種によっては1週間以上先の番組も確認できます。録画予約をするときも、指示に従って番組を選択するだけです。放送時刻の変更があっても予約録画などにすぐ対応します。